

## 練馬区教育委員会教育長賞

# 『未来への投資』

## 練馬区立開進第一中学校 三学年 久保 斐喜

私たちは日々、税金を払っている。買

い物をするときにも、消費税というかたちで税金がとられるのだ。十月からは軽減税率に関するニュースを頻繁にやっている。しかし、その時は大変そうだなという感想しか浮かばなかった。

でも、あらためて考えると、そもそも税金はなんのためにあるのだろう。税金を払うことで、私たちは医療費や教育費の助成など様々な支援が受けられる。しかし、国はどうしてそれらを行なっているのだろうか。

私にとって身近な税金が使われている場所は学校だ。日本の、小・中学校の義務教育が、税金の上に成り立っているということは知っている。くわしく調べてみると、中学生一人の教育費は、年間百万円以上を税金で負担していることが分かった。百万円の束を、私は見たことがある。あんなにたくさんのお金、私の中学校生活の一年の為に、国民の税金から使われているんだと想像してみる。すると、この一年間がとても

貴重に思えてきた。

もし、教育費が税金で負担されていなかったら、子供をもつ家は、その分たくさんのお金を支払わなくてはいけないだろう。学校に行けなくなる子もいるかもしれない。学校では、色々な力が育てられていると思う。学力はもちろん、様々な個性を持つ人と接し、集団で行動する能力を身につけることができる。全員が学校へ通うことで、そういった学力や能力の差を小さくしたり、学力の水準を上げたりする。そのために、教育費が税金で負担されるのではないだろうか。

私は先日、高校見学に行った。その学校は理数やグローバルの研究校に指定されていて、設備がすばらしかった。学力の優秀な生徒が集まるその学校では、良い設備の中で個々の力をさらに伸ばし、未来に活躍するような人を育てているそう。公立の学校だったので、設備にこだわっているのは税金だろう。そうでないにしても、将来有望な人たちのために、お金をかけて良い経験を

してもらおうのは、良い事だと思う。これと同じで、税金で教育費の負担をすることは、将来の国を担う若い世代に、多くのことを学んでもらいたいからなのだ。このように考えれば、税金は未来への投資とも言えるだろう。

未来への投資、というのは税金の使い道の一つであって、他にも、安心して生活できるようにするなど色々な使われ方があると思う。それでも私は、このお金は未来への投資なんだと思って税金を払いたい。なぜなら、税金によって日本はさらに良い国になると信じているし、税金のおかげで学んでいる私自身が日本をさらによくしていきたいからだ。

大人の人は、税金を払わなければいけないとか、税金をとられるといった言い方をすることがある。私は、快く税金を払える人になりたい。